

「船井電機跡地施設整備基本構想（案）」に対する意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>船井施設を幅広い年齢層の散策や公共の遊園地として、また夏の阿波踊りのメインの踊り場として活用できる設計施工を検討していただきたい。</p>	<p>中心市街地の将来像の実現や施設コンセプト「つなぐ・つながる」をテーマに、地域のより良い未来をつくるための付加価値を生む、その基盤となる役割を目指してまいります。いただいたご意見は、必要に応じて、その他付加機能として基本計画において検討してまいります。</p>
2	<p>市中心部における広大地の希少性及び街の歴史から、この跡地は子供達が新たに末永く就労できる場として活用すべきと考える。三好市においては、10～20年先を見添えた投資としては、生活施設より産業施設（しごとの創出）の検討を優先すべきと考える。</p>	<p>中心市街地の役割では広く市内の暮らしを支える拠点性の持続が求められており、中心市街地の将来像として、「人口減少社会に適合したまちづくり（コンパクトシティ+ネットワークの推進）」を目指します。なお、将来像の実現には、本基本構想に位置付ける施設整備に合わせ、「しごとの創出」など、様々な施策をパッケージ化とし展開できるよう別途検討してまいります。</p>
3	<p>ウォーキングコースを設置してほしい。コースは敷地の外周を利用して、緩やかな坂や変化を持たせるとともに、途中で休憩する利用者のためにテーブルやベンチを置くなどするとよい。隣の総合体育館との利用者にも呼びかけやすく、春は周辺の桜が美しく、丸山公園とも連動した活性化を図るとよいと考える。</p>	<p>必要に応じて、その他付加機能として基本計画において検討してまいります。</p>
4	<p>船井電機跡地は市民は元より、市内外からも訪れてくれるような市の将来につながっていく、よりよいものにしていく必要がある。人口減少を少しでも食い止めるためにも、当市中心部（池田町）で老若男女を問わずより多くの人が集い楽しめる場所が必要と思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①芝生、植栽、花壇等により公園 ②ジョギングコース、パークゴルフ等 ③ドッグラン（ペットブームのニーズに対応、屋根付き） ④遊具（子ども、大人用） ⑤マルシェの開催 ⑥若者定住のための宅地分譲 ⑦池の利用 	<p>必要に応じて、その他付加機能として基本計画において検討してまいります。</p>

5	<p>跡地の活用について、平時は老若男女が集う美観な憩いの場とし、有事の際には即対応の出来る設備（箱物論外）とし、何れの時代が来ようとも市民の安全安心の確保が真の行政力かと考えます。</p>	<p>新しい施設では、市民が気軽に使える開放的な施設を目指して、機能を融合し、マグネット機能などを付加することで、より日常の賑わいを生むとともに、様々な人が集うことで新たな活動の創出が期待できる施設を目指します。</p> <p>なお、整備する施設では基本計画にて災害時の役割を検討していきます。</p>
6	<p>市が施設を所有すると短期的にも長期的にも、多大なコストがかかることから、コストメリットを考えつつ遊休地を利活用するために、屋内型複合レジャー施設を誘致し、市としては、周辺施設と連動させるイベントを計画・運営することで、不足しているサービスへの対応と健康づくり拠点、知の拠点形成に取り組む必要があると考えます。</p>	<p>必要に応じて、その他付加機能として基本計画において検討してまいります。</p>
7	<p>三好市は消滅可能性都市の兆候が鮮明になってきたことを踏まえできる限りの出費を抑えた設備で抗うことなく静かに生き延び長らえましょう！それが運命ですと聞こえます。先人がここまで繋いできたこのまちを、繁栄してきたころの活気に満ちたまちに戻すべく再生努力する大人たちの姿を見せたいものです。</p> <p>人口自然減の地域を再生させるにはとにかく交流人口、移住人口の増加。そのために必要な設備は規模にかかわらず、本当に魅力的で使いやすい適切なコンベンションホールであると思っています。</p>	<p>三好市の人口動態については、国立社会保障・人口問題研究所により、厳しい人口減少予測が示されています。今後一層の人口減少が進むなか、現状を徒に悲観するわけではなく、人口減少社会という現実を認識し向き合う必要があります。</p> <p>三好市の持続可能性を高める観点から施設整備の基本方針として、中心市街地の役割では広く市内の暮らしを支える拠点性の持続が求められており、中心市街地の将来像として、「人口減少社会に適合したまちづくり(コンパクトシティ+ネットワークの推進)」を目指すこととしております。将来像の実現には、本基本構想(案)に位置付ける施設整備に合わせ、「交通ネットワークの最適化」や「安全・安心な居住環境の実現」、さらには「しごとの創出」など、様々な施策をパッケージ化とし展開できるよう別途検討してまいります。</p> <p>多目的ホールについては、常に人が集うことができる場であったり、必要な機能に絞った空間とすることなど、将来を見据え、三好市にあるべき適正なホールを基本として基本計画の中で機能や規模を、将来世代への負担や敷地条件、地方を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえるとともに、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的な考えや意見を考慮して導入機能や適正な規模を検討します。</p>

8	<p>公民館部分を東北の一角に位置させる。ホール前面は南側をホール前玄関ロビーとして南側からの入場者を受け入れる。ホールの収容人員は550人程度。日本文化の華道お茶席などが実施できるスペースを確保する。読み聞かせ、手遊び、うた遊び、ゲーム広場、運動などの賑わいのスペースの確保する。ホール部分は音楽コンサート、バレエ・日本舞踊など各種イベントなど大規模な公演を行う場所とする。公民館部分、図書館部分、賑わい広場等と切り離す。全体の建物約西半分をホール部分と定める。東半分は北奥から展示会場、お茶席を配置し、公民館部分は展示会場には書道作品などの掲示ができる場所を確保。公民館部分の南側に別棟部分も伸ばし、図書館関係部分と子供の遊びの場所、市民の憩いの場所を計画し配置。北側を通っている土讃線の列車騒音について、十分な遮音対策を講じて建設。</p>	<p>本基本構想における各施設機能や規模検討では、「三好市サンライズビル跡地整備基本計画策定検討委員会からの答申」における「サンライズビル跡地における複合施設整備基本計画（案）」で検討した機能と規模を参考とします。一方で、サンライズビル跡地において整備する施設やその他施設との間における機能面が必要以上の重複がないよう、十分な精査や施設間の機能連携が重要となります。敷地内の施設配置も、隣接する三好市池田総合体育館との連携や道路との接続、駐車場の確保、災害時の利便性などを踏まえます。今後、基本計画において、これらとあわせ、将来世代への負担や敷地条件、地方を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえるとともに、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的な考えや意見を考慮して導入機能や適正な規模を検討します。</p>
9	<p>県西部一の文化スポーツ芸術の殿堂なる可能性ある能力を持つ施設であることが必要であり交流の都市となるべき必要な施設です。うだつの町並みに宿泊型観光施設が望まれます。</p>	<p>都市部や市域などの人をつなぐ施設コンセプトのもと、中心市街地全体の最適化を考えた場合、船井電機跡地エリアだけでなく、他のエリアとの連携した形での「まち全体での回遊を生む空間」や「歩いて過ごせる空間」のほか「すべての世代が安心して過ごせる空間」づくりの形成が望まれており、このことを念頭に、本件施設整備にあわせ必要な検討を進めてまいります。</p>
10	<p>・船井電機跡地には公民館はいない。</p> <p>・交流拠点の多目的ホールは必要です。客席は固定式で800席前後、ステージはオーケストラが演奏できる広さで、音響も優れたもの、もちろんリハーサル室や楽屋、機材室、会議室、広いホワイエも必要です。</p> <p>中途半端な施設や設備では利用範囲が限られ交流人口の増加につながらないので、積極的な投資も必要です。</p>	<p>・公民館（市民活動施設）は、図書館や多目的ホールといった機能との融合など、気軽に立ち寄れる新しい市民の憩いの場、集いの場、さらには学習の場としても機能する空間デザインを基本とし、基本計画の中で将来世代への負担や敷地条件、地方を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえるとともに、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的な考えや意見を考慮して導入機能や適正な規模を検討します。</p> <p>・多目的ホールにつきましては、常に人が集うことができる場であったり、必要な機能に絞った空間とすることなど、将来を見据え、三好市にあるべき適正なホールを基本として基本計画の中で機能や規模を、将来世代への負担や敷地条件、地方を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえるとともに、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的な考えや意見を考慮して導入機能や適正な規模を検討します。</p>

<p>11</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サンライズ跡地利用における検討結果として尊重すべきだが、この時の基本方針や意見が今回の施設整備の基本方針に反映されていないように見える。 ・市内だけでなく他地域からの利用を想定し、集客機能が充実した経済波及効果を生む賑わい交流拠点」を加えてほしい。 ・施設コンセプトに関しては、抽象的過ぎて全くわからない。一番大事にすべきことを明確に記載すべき（今後の議論が必要）。未来を担う高校生等の意見を聞く機会を設けてはどうか。 ・土地利用の方針に関して、市の課題設定が3つあるが、この3つについてもっと議論が必要。 ・多目的ホールこそ施設のメインと位置付けるべき。施設規模は、市民利用中心の公民館・図書館については人口減少も加味した身の丈に合ったもの（規模、維持費も少なく済むもの）でよいが、ホールは800席（1階600席、2階200席）は必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想（案）3ページでは「サンライズビル跡地利活用基本構想」及び「三好市サンライズビル跡地整備基本計画策定検討委員会からの答申」を踏まえ、市有の遊休地である船井電機跡地での施設整備基本構想を策定することを位置付け、基本構想（案）10ページでは、「三好市サンライズビル跡地整備基本計画策定検討委員会からの答申」における「サンライズビル跡地における複合施設整備基本計画（案）」で検討した機能と規模を参考とすることとしております。 ・都市部や市域などの人をつなぐ施設コンセプトとしており、市内だけでなく他地域からの利用も想定しております。「他地域からの利用を想定し、集客機能が充実した経済波及効果を生む賑わい交流拠点」については、今後、必要に応じて、その他付加機能として基本計画において検討してまいります。 ・施設コンセプトは、施設を目指すべき方向性について、その概念や大事にすべき考え方を定めたものとなります。今後はこのコンセプトを基に導入機能などを検討することとなりますが、検討の際には多世代の幅広いご意見を承りたいと考えております。 ・土地利用の方針は、市の課題の解決に資する施設整備を目指すこととしており、これまでの経過などを踏まえ主な3つをあげたもので、これに限ったものではございません。 なお、中心市街地全体の最適化を考えた場合、市の課題の解決に資する施設整備を船井電機跡地エリアだけでなく、他のエリアとの連携した形での「まち全体での回遊を生む空間」や「歩いて過ごせる空間」のほか「すべての世代が安心して過ごせる空間」づくりの形成が望まれることから、施設整備にあわせ必要な検討を進めることとしております。 ・新しい施設における多目的ホールでは、常に人が集うことができる場であったり、必要な機能に絞った空間とすることなど、将来を見据え、三好市にあるべき適正なホールを基本として基本計画の中で機能や規模を将来世代への負担や敷地条件、地方を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえるとともに、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的
-----------	---	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外に屋根付きの広場を設け朝市やマルシェなどの開催、カラオケボックスの設置、池田町内でのイベント開催時の駐車場の役割等、多様な利用を想定し施設全体の空間デザインを検討すること。 防災拠点としての活用や災害時の市民受け入れ等は隣接する体育館との連携や役割分担を検討すること。 市民の交流施設としてはサンライズビル跡地施設 1 階との重複の検討も必要。 <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営方針として「近隣での運営者等の意見」を聞く機会を設けるべき。 	<p>な考えや意見を考慮して導入機能や適正な規模を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設全体の在り方につきましては、市民が気軽に使える開放的な施設を目指して、これらの機能を融合し、マグネット機能などを付加することで、より日常の賑わいを生むとともに、様々な人が集うことで新たな活動の創出が期待できる施設を目指します。その他機能につきましても、中心市街地の将来像の実現や施設コンセプトに基づき、その他付加機能を基本計画において検討していきます。 防災機能は、三好市防災計画で広域避難場所として指定する三好市池田総合体育館との連携した避難場所としての機能のほか、災害支援拠点としての機能も期待されていることを踏まえ、これらの災害時機能について、基本計画にて役割を検討します。 他施設との機能重複では、中心市街地の公共施設の全体最適化を念頭に、本件で整備を検討する施設と、サンライズビル跡地において整備する施設やその他施設との間における機能面が必要以上の重複がないよう、十分な精査や施設間の機能連携が重要と捉えております。 ・管理運営については、今後、検討に必要な情報収集を行なえるようその手段を検討してまいります。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・「多目的ホール」という呼称は止め「文化ホール」と改めるべき。 ・収容人数 800 人ぐらいの普通の機能を備えた中規模ホールを希望する、「高度な演出が可能な高機能ホール」である必要はないが、普通の演出ができる機能を備えたホールである必要がある。 ・図書館を建設するにあたっては、古文書、絵画、書が保存できる空間を設けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に人が集うことができる場であったり、文化活動も含め多世代市民皆様の様々な活動を前提に「多目的ホール」として検討することとしております。 ・新しい施設におけるホールでは、常に人が集うことができる場であったり、必要な機能に絞った空間とすることなど、将来を見据え、三好市にあるべき適正なホールを基本として、将来世代への負担や敷地条件、地方を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえるとともに、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的な考えや意見を考慮して導入機能や適正な規模を検討します。 ・図書館については、「三好市サンライズビル跡地整備基本計画策定検討委員会からの答申」における「サンライズビル跡地における複合施設整備基本計画（案）」で検討した機能

		<p>と規模を参考として、様々な図書館機能から新しい施設にふさわしい機能を取捨選択し、市の人口規模などから適正な図書館の規模を、将来世代への負担や敷地条件、地方を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえるとともに、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的な考えや意見を考慮して導入機能や適正な規模を検討します。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> ・集客力が期待できるプロの方から講演したいと思ってもらえるホールとする。 ・座席数は中規模の 800 席。 ・ホールの機能を充実させるための初期投資を惜しまない(財源では過疎債、合併特例債、基金などから) ・文化ホールで人口減少を止める。 ホールを活かして町を活性化する。 集客力の高い講演により、近県、市外からも人々が集まる。 広域交流人口が増え、経済効果が期待できる。 市の魅力を発信して移住・定住につなげる。 ・次の世代に文化ホールをつなぐ プロの講演が催されることは市民の長年の願いであった。 文化ホールの整備は、財源のある今がチャンスである。 次世代に残す価値のある文化ホールを建てる必要がある。 	<p>新しい施設におけるホールでは、常に人が集うことができる場であったり、必要な機能に絞った空間とすることなど、将来を見据え、三好市にあるべき適正なホールを基本として、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的な考えや意見を考慮して検討してまいります。</p> <p>財源などは基本計画において導入機能の規模などの精査や配置を計画するとともに、施設整備や維持管理の概算費を算出するなかで検討を進めてまいります。</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> ・P1「①人口動態・社会情勢」では、「さらに厳しい人口減少が予測」との記述がある。こんなミジメで安易で後ろ向きな『基本構想』しか描けないのか。 ・P12(3)「図書館」、ここには“マグネット機能としてカフェ・キッズスペース”とある。とすると、“新しいホール”図の「baby・読み聞かせ・本・カフェ・新聞」が「マチガイ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件基本構想(案)は人口減少社会に適合した持続可能なまちづくりを目指す三好市版総合戦略、さらには三好市都市計画マスタープランや三好市立地適正化計画を拠り所として策定することとしており、人口の将来展望などを踏まえ、中心市街地の将来像である「人口減少社会に適合したまちづくり(コンパクトシティ+ネットワークの推進)」の実現に向け、基本構想に位置付ける施設整備とともに、「交通ネットワークの最適化」や「安全・安心な居住環境の実現」、さらには「しごとへの創出」など、様々な施策をパッケージ化とし展開できるよう別途検討することで、三好市の持続可能性を高めてまいりたいと考えております。 ・新しい施設は、市民が気軽に使える開放的な施設を目指して、これらの機能を融合などすることで、より日常の賑わいを生むとともに、様々な人が集うことで新たな活動の創出

<p>である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P2:「③地理的条件におけるポテンシャル」P13:(4)「多目的ホール」の項でも、“大規模イベントは高い交通利便性から都市へ見に行くことが可能”と書かれている。両者共通の『(出ていく)記述』は「三好市の『優位ポテンシャル』の放棄」ではありませんか。「さすが、利便性のある中心位置(四国のヘソ)の『三好市の施設(ホール)』だ、ぜひ訪れよう、ついでに近辺も周遊しよう」と、他を『呼び込む』方向が「立地的優位性」と連結する『基本構想』であるべきではありませんか?「出ていく『立地的優位』論」の修正を求める。 ・P13:(4)「多目的ホール」における「『新しい施設』の規模(観客席数)」についての具体的記載がない。今後、最大重要ポイントである『観客席数』は①何を基準にして、②その結果「いくら」に決めるのか、お尋ねする。私の持論は、下部800・上部400席である。早急な『観客席数』と、その根拠」をお示ください。 ・本『基本構想』(案)のなか、『展示』部門のスペースが見当たらない。 	<p>が期待できる施設を目指します。大きくは、「新しい施設のイメージ」に示す、主な機能の「区切りを無くした空間を融合する」から「ホールのみ分離」「機能ごとに空間を分離」といった大別する3つの枠組みの中で、実現可能性を踏まえ、施設全体の空間デザインを検討することとしております。ご指摘の内容は「区切りを無くした空間を融合する」といったイメージを表現したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想(案)2ページにお示ししている内容は、公共交通機関でも四国各県や本州など広域へのアクセスが容易で、その交通利便性から近隣の施設も利用しやすい立地的優位性があるとともに、様々な方面から人が集まり行き交う特性を有していることを整理しております。また、基本構想(案)13ページにお示ししている内容は、交通利便性から近隣の施設も利用しやすい立地的優位性を活用し、大都市を中心に開かれる大規模イベントを見に行くことができる様々な選択の多さを整理した内容となります。 ・本基本構想における各施設機能や規模は、今後基本計画の中で検討します。 ・施設の各機能につきましては、基本構想(案)10ページにお示ししますように、中心市街地におけるこれまでの検討経過を踏まえ、本基本構想における各施設機能や規模検討では、「三好市サンライズビル跡地整備基本計画策定検討委員会からの答申」における「サンライズビル跡地における複合施設整備基本計画(案)」で検討した機能を参考とします。一方で、各機能については、中心市街地の公共施設の全体最適化を念頭に、本基本構想において整備を検討する施設と、サンライズビル跡地において整備する施設やその他施設との間における機能面が必要以上の重複がないよう、十分な精査や施設間の機能連携が重要となります。今後、基本計画において、これらとあわせ、将来世代への負担や敷地条件、地方を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえるとともに、市民を含むステークホルダーの
--	--

		多角的または主体的な考えや意見を考慮して導入機能を検討します。
15	<p>多目的ホールは文化の高い所では何年も前から小さな町でも実在。舞台も古典的、新しい現在のイベントを表現する装置等、その目的にそったもの等を装備すると出演者を引き立てる。そのようなホールがあれば、出演する場所のない人達が発表する場所の心配なく利用者が多くなると思う。</p> <p>食事も移動することなく済ませたらよいと思う。車がなくても足を運べる公園の整備等お願いしたいです。</p>	<p>ホールは整備される規模や仕様により大きく空間が異なり、また、高度な演出が可能な高機能ホールは、初期投資とともに維持管理に多額の費用を要し、市にとり将来的に大きな負担となります。新しい施設におけるホールでは、常に人が集うことができる場であったり、必要な機能に絞った空間とすることなど、将来を見据え、三好市にあるべき適正なホールを基本として、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的な考えや意見を考慮して検討してまいります。</p> <p>飲食は、施設の魅力度を向上させ、常時の賑わいを創出するために、人を惹きつけるマグネット機能としてカフェなどの設置を検討することとしております。公園などの整備は、必要に応じて、基本計画において検討することとなります。</p>
16	<p>市内文化団体からの要望の多目的ホールについて、文化活動振興のために活動拠点が必要であり、設置されれば文化団体、市、その他の団体や市民が多いに利用して市の発展に期待します。人口減少と高齢化の増加（行動範囲が狭くなる）で大きな施設ではなく、維持費等の問題もありコンパクトで身の丈にあったものを整備し、末長く持続可能な施設になってほしい。</p>	<p>多目的ホールにつきましては、高度な演出が可能な高機能ホールは、初期投資とともに維持管理に多額の費用を要し、市にとり将来的に大きな負担となります。新しい施設における多目的ホールでは、常に人が集うことができる場であったり、必要な機能に絞った空間とすることなど、将来を見据え、三好市にあるべき適正なホールを基本として基本計画の中で機能や規模を、市民を含むステークホルダーの多角的または主体的な考えや意見を考慮して検討してまいります。</p>